

講演会「インドネシア・スマトラ島のオランウータンを救おう！」
～世界の希少野生動物保護の現状と未来～

以下の通り、講演会が開催されますので、この機会に是非、多くの方々のご参加をお待ちいたしております。なお、当日の参加費は無料、事前の申込み等も必要ありませんので、会場に気軽にお越しください。



- 主催：特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会（WRV）
 - 共催：東京環境工科専門学校（TCE）
 - 協力：世界自然保護基金ジャパン（WWF-J）
 - 日時：2011年12月17日（土）13時～15時
 - 会場：東京環境工科専門学校 301教室（渋谷駅より徒歩12分）
TEL：03-3409-3288(代表) URL：<http://www.tce.ac.jp>
 - 定員：100名
 - 申込み：不要（直接会場にお越しください）
 - 参加費：無料
- ※会場にてWWFの入会パンフレット及び関連資料を配布します

●開催の趣旨

現地語で「森の人」という意味のオランウータン。その”森”である熱帯雨林が大規模開発によって失われています。しかも、この“森”の消失と私たち日本人の生活と密接な関係があるという事実……。こうした状況の中で、絶滅の危機に直面しているスマトラオランウータンをどのようにして守れば良いのでしょうか。

長年、スマトラ島の森林保全活動に取り組んでいる WWF ジャパンと今夏からオランウータン保全実習を始めた東京環境工科専門学校から話題提供していただきます。

今、スマトラオランウータンのために私たちができることは何か。いっしょに考えてみたいと思います。

【当日のプログラム】

◎講演 1 (40分)

「スマトラ島における森の現状と WWF の取り組み」

WWF ジャパン 広報 山浦 文義 氏

内容：

世界が現在抱えている環境問題に対してWWFは、世界各地で活動をおこなっています。特にスマトラ島の熱帯林は、世界でもまれにみる豊かな生物多様性を誇る地域です。

かつて、島全体を覆っていたスマトラ島の熱帯林は、過去 30 年あまりの間に急激に減少し、その森林及び、絶滅の危機に瀕しているものも含め、多種多様な動植物の緊急的な保全が必要といわれています。また、国立公園内の不法な土地占拠や、森林の伐採などによる生息地の減少は、すみかを失った野生生物と住民との争いなど、社会的な問題も引き起こしています。この問題に対する WWF の活動及び、取り組みについて写真を交えながら紹介します。

◎講演 2 (40分)

「スマトラオランウータン保全実習報告～野生動物リハビリテーション最前線～」

TCE 特任教員 WRV 副会長 皆川 康雄

内容：

TCE では、この夏からインドネシア・スマトラ島でのオランウータンの保全実習を始めました。リハビリテーションセンターにて野生復帰されたオランウータンは、まさに私たちの目をくぎづけにしました。その追跡行動観察からわかるオランウータンにとっての”森”とは何でしょう。失われたオランウータンの”森”を取り戻すために行われている植樹という地道な作業。現地での体験を通してオランウータンからのメッセージを報告します。

◎総合討論 (会場とともに) (20分)

今、私たちにできることは？

日本において・・・。

現地において・・・。

